

第2回意見聴取会議資料  
総合リハビリテーション支援拠点施設整備に係る基本計画  
(中間案の方向性)

## 1.現状・課題

- (1)高齢化の進展や障害者の状況 .....P2
- (2)リハビリテーション施策と府立施設の現状・課題.....P4

## 2.現施設概要

- (1)心身障害者福祉センター(城陽市) .....P5
- (2)洛南寮(京田辺市) .....P9

## 3.新施設の位置づけ

- (1)求められる役割 .....P11
- (2)分野別機能について .....P12
- (3)施設機能連携について .....P13

## 4.新施設機能概要

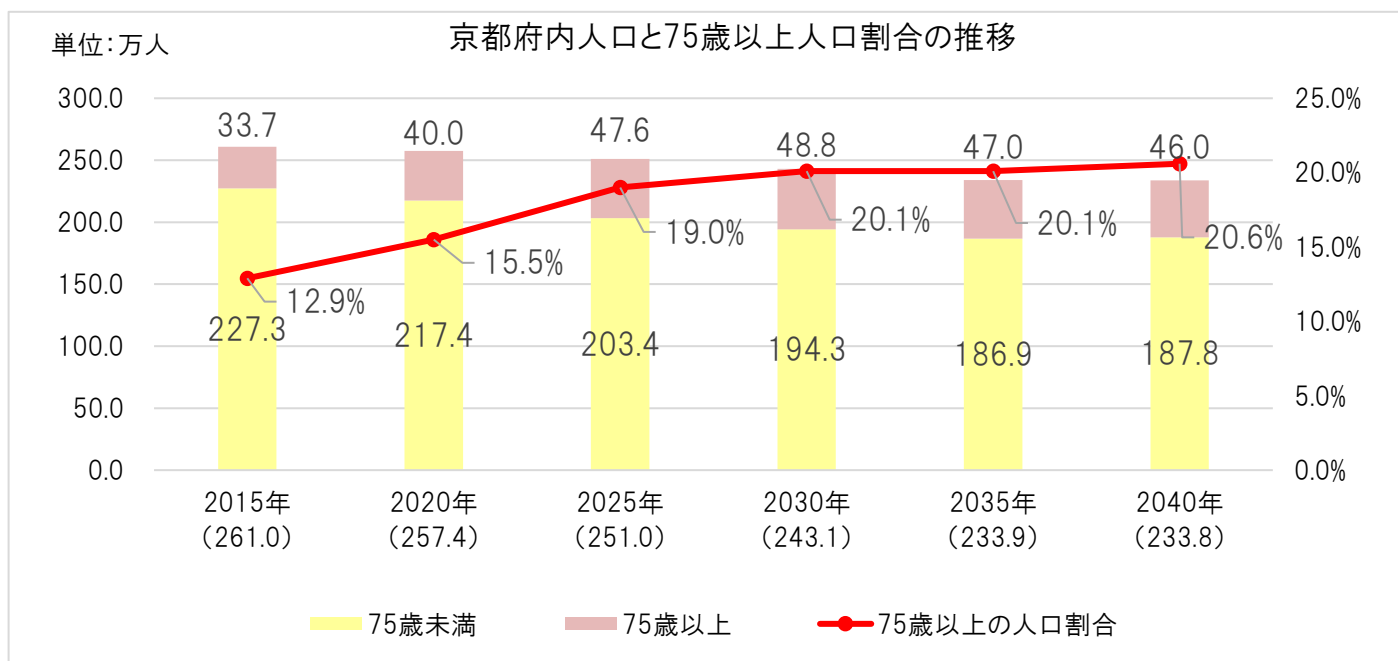
- (1)地域リハビリテーション支援部門 .....P14
- (2)心身障害者福祉センター .....P15
  - ①障害者支援施設 あしはらの丘
  - ②生活訓練事業所 ひまわり
  - ③相談支援事業所 TOMO
  - ④体育館
  - ⑤補装具調整施設、更生相談部門
  - ⑥附属リハビリテーション病院
  
- (3)洛南寮 .....P18
  - ①洛南寮共通事項
  - ②養護老人ホーム
  - ③救護施設

# 1.現状・課題

## (1)高齢化の進展や障害者の状況

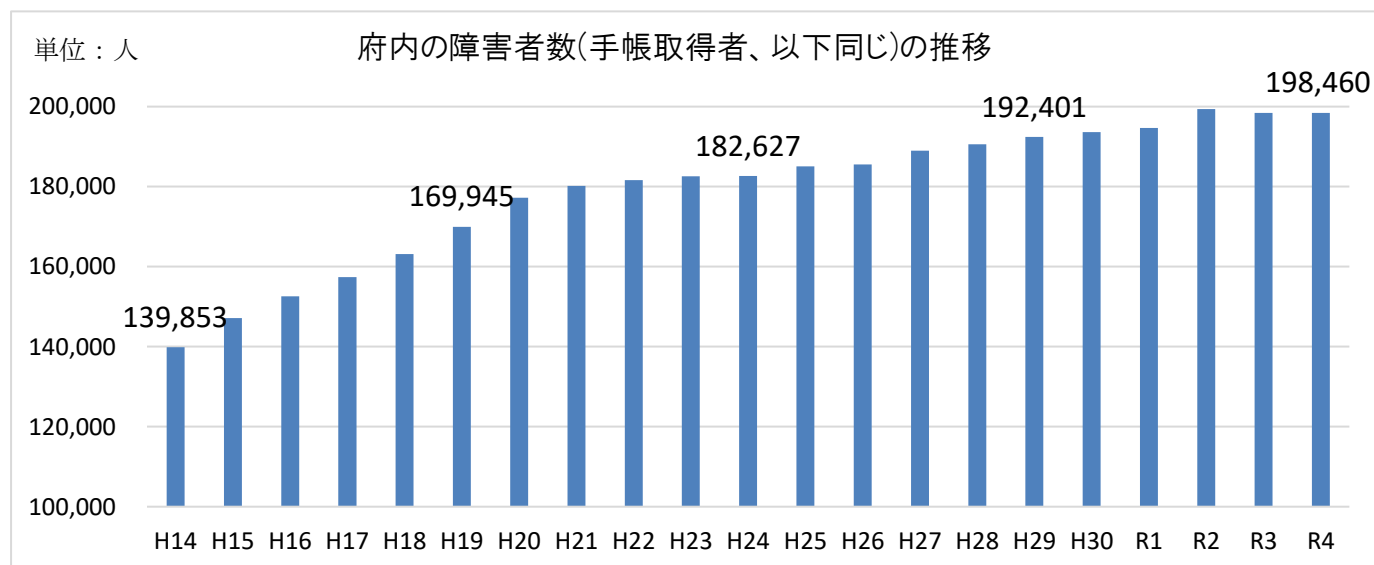
### ① 府内人口の減少と高齢化の推移

本府の人口は2015(平成27)年の261万人(75歳以上割合12.9%)に対し、2040(令和22)年は238.8万人(75歳以上割合20.6%)であり、人口減少と高齢化が進展することが予測されている。



### ② 府内の障害者数(手帳取得者、以下同じ)の推移

本府の障害者数は、2020(令和2)年度以降は減少しているものの、2017(平成29)年度と比較すると6,059人増加しており、長期的にも増加傾向にある。

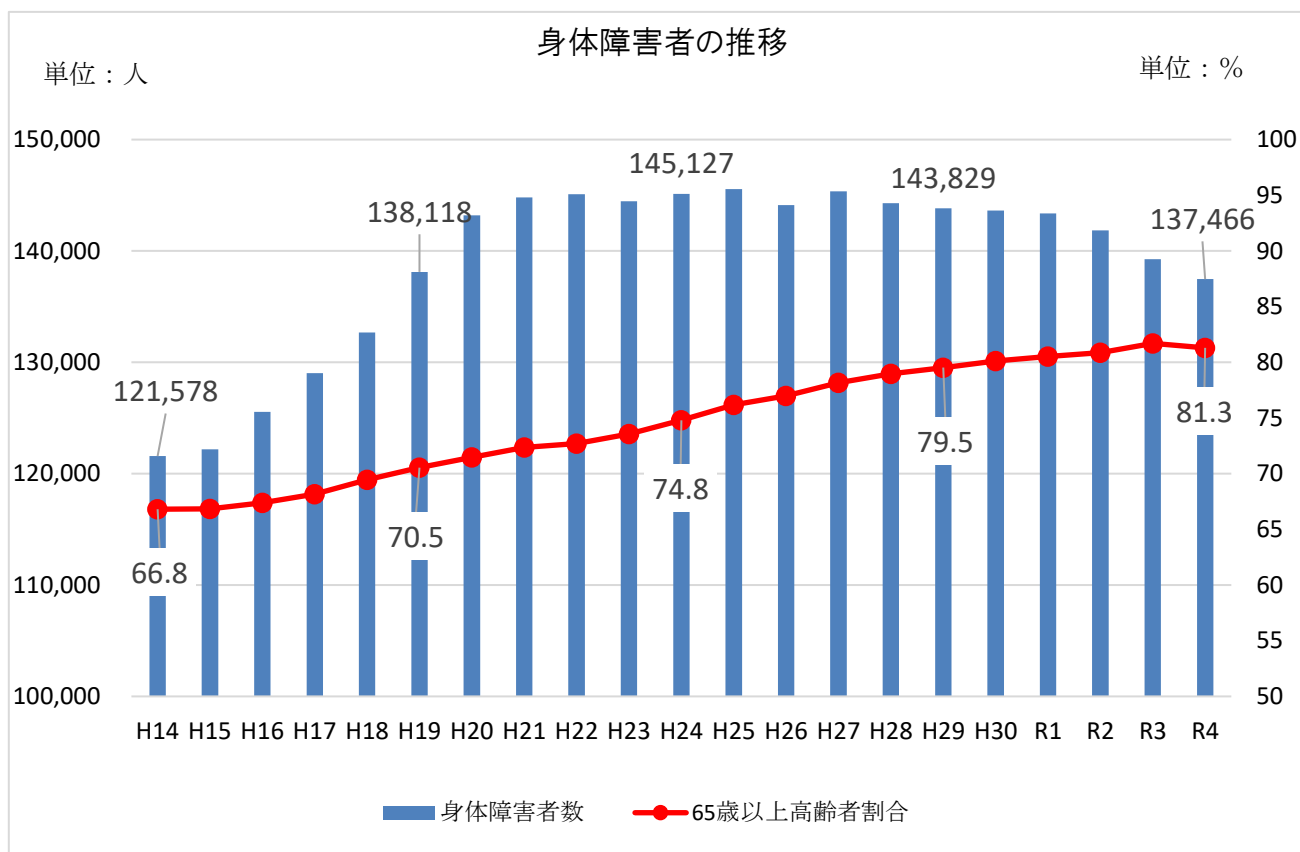


# 1.現状・課題

## (1)高齢化の進展や障害者の状況

### ③身体障害者の推移

本府の身体障害者手帳交付状況、京都市を除く身体障害者手帳交付者のうち、65歳以上の高齢者の割合が年々増加している。



# 1.現状・課題

## (2)リハビリテーション施策と府立施設の現状・課題

### ① 京都府のリハビリテーション施策

現状	<b>【体制】</b> ・京都府リハビリテーション支援センター(府立医大内・中丹東保健所内) ・地域リハビリテーション支援センター(二次医療圏ごとに中核病院を指定(8箇所))、保健所 ・京都府リハビリテーション教育センター(府立医大等)、京都地域包括ケア推進機構 等
	<b>【施策】</b> 急性期、回復期、維持・生活期のリハを推進するための環境整備を推進 ・人材の育成・確保・修学資金の貸与 ・施設の拡充・訪問リハビリテーション事業所開設補助 ・連携体制の構築・関係団体とのリハ連携推進会議等の開催、福祉施設等への訪問相談・研修
課題	・増加する高齢者等へのリハ提供体制の構築 ・高齢化やコロナ自粛等に伴う外出機会の減少に伴うフレイル予防ニーズの増加 ・障害児・者の在宅生活に向けたリハニーズの高まり(H25 障害者総合支援法)

- ◎高齢者、障害児・者等のリハビリテーション提供体制の構築
- ◎急性期、回復期、維持・生活期まで継続したリハの推進

### ② 府立施設

※拠点整備場所は検討中

	心身障害者福祉センター(S53建設) 城陽市	洛南寮(S57建設) 京田辺市
現状	障害者支援施設:施設入所・生活介護、短期入所 生活訓練事業所:自立訓練(生活訓練) リハ病院:入院、外来(整形外科、リハ科、神経内科等) 体育館:障害者スポーツ拠点、初心者教室等	救護施設 入所・生活介護、一時入所、地域移行支援 養護老人ホーム 入所・自立支援、介護保険サービス
課題	入所者の地域移行支援 利用者の高齢化、重症化による医療・リハ需要の増加(骨粗しょう症、フレイル、認知症、摂食嚥下障害等) 個室化等入所者の処遇向上 障害者スポーツの実施率の増加への対応	入所者の自立支援 地域移行支援の強化 入所者の介護度の上昇 個室化等入所者の処遇向上 一時入所機能の充実

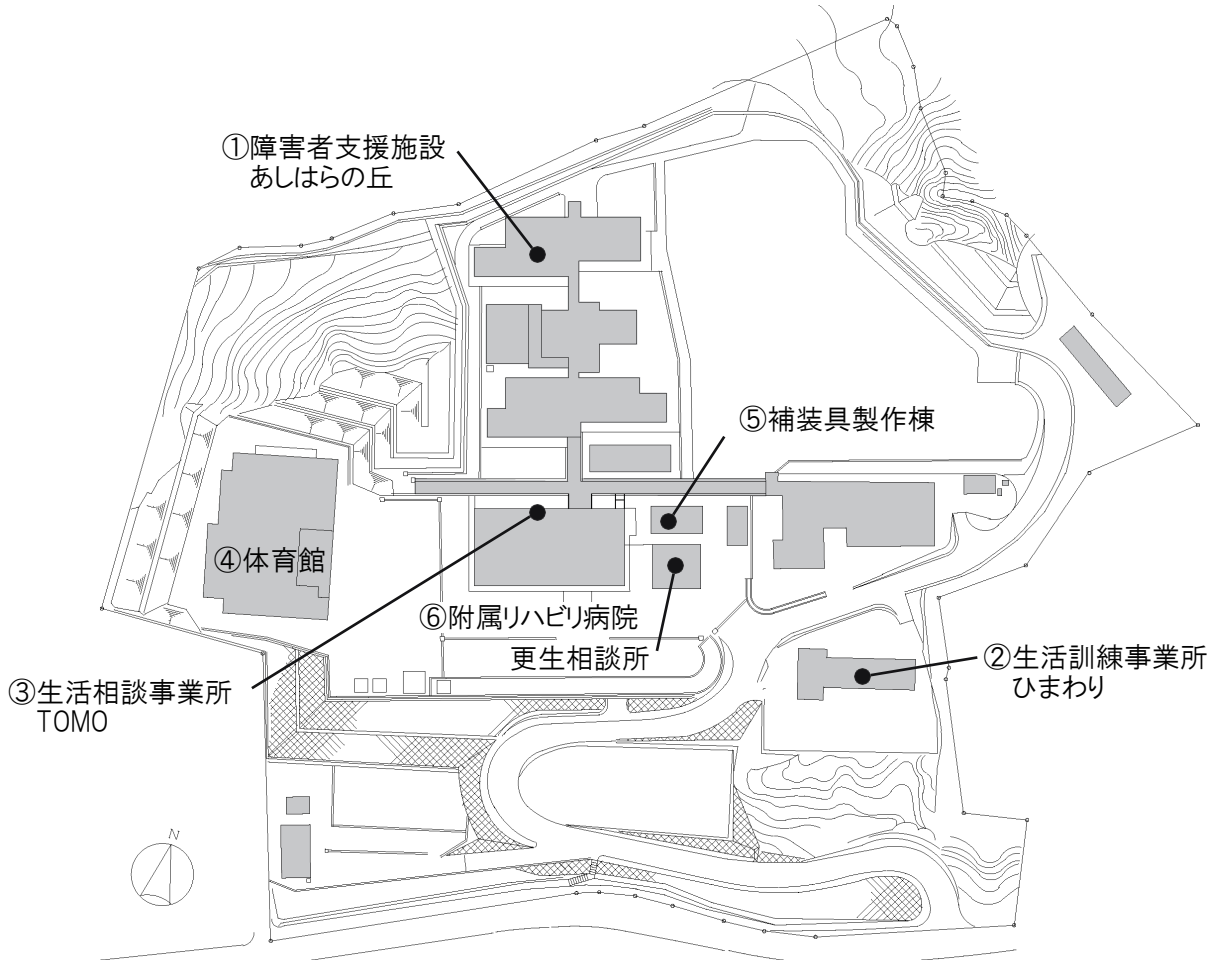
- ◎医療・リハ・介護体制の強化、地域移行機能充実

支援拠点の整備により府域の課題解決を促進

## 2.現施設概要

### (1)心身障害者福祉センター(城陽市)

障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として施設入所支援を行うとともに、施設障害福祉サービスを提供し、自立した日常生活を営むことができるよう必要な訓練を提供。



#### ① 障害者支援施設あしはらの丘

##### ア 機能、定員等

機能	定員	対象者
施設入所支援	50名	身体障害があり、常時介護を必要としている者
生活介護	50名	身体障害があり、常時介護を必要としている者
短期入所(空床型)	1名	同上

##### イ 施設の利用状況

- 施設入所支援(定員50名)の利用率は90%以上で推移  
2021年度：92%
- 入所者の年齢構成は65歳以上の高齢者が占める割合が高く、年々増加  
2022年4月：40.5%

## 2.現施設概要

### (1)心身障害者福祉センター(城陽市)

#### ② 生活訓練事業所ひまわり

##### ア 機能、定員等

機 能	定 員	対 象 者
自立訓練(生活訓練)	10名	附属リハビリテーション病院の高次脳機能障害 専門外来を受診している者

##### イ 施設の利用状況

- ・ コロナ禍により利用者数は減少傾向  
2020年度:829人/年  
2022年度: 632人/年

#### ③ 相談支援事業所 TOMO

##### ア 機能、定員等

機 能	定 員	対 象 者
計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援	-	宇治市、城陽市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町に在住の身体障害者 (肢体不自由)

##### イ 施設の利用状況

- ・ 相談支援件数年間130~180件程度で推移  
2022年度: 151件/年

## 2.現施設概要

### (1)心身障害者福祉センター(城陽市)

#### ④ 体育館(サン・アビリティーズ城陽)

心身障害者福祉センター体育館は、京都府南部エリアにおける障害者等のスポーツ・レクリエーション活動拠点や地域交流施設の役割を担っており、パラスポーツの裾野拡大を目指し、初心者教室の開催や教室参加者等による独自クラブの組織化を支援している。

また、2016(平成28)年にパワーリフティング競技の「パラリンピック競技ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設(NTC)」に指定されてからは、NTC関係選手の練習環境整備と医学的サポートを実施している。

#### 施設の利用状況

- ・ コロナ禍により、体育館利用者は減少  
2018年度:62,439人/年  
2022年度: 25,356人/年
- ・ 利用者は障害者の占める割合が高い。  
2022年度: 81.6%

#### ⑤ 補装具製作施設等

- ・補装具製作施設  
補装具製作は利用者減少のため、2005(平成17)年休止し、現在は、補装具の調整を行っている。
- ・更生相談部門  
身体障害者福祉法に基づき補装具の判定業務や利用者の一般的な相談に応じる。



## 2.現施設概要

### (1)心身障害者福祉センター(城陽市)

#### ⑥附属リハビリテーション病院

附属リハビリテーション病院は医療法に基づく病院であり、入院・外来部門を備えている。

#### ア 外来・入院機能

外来機能	
診療科	整形外科、リハビリテーション科、神経内科、精神科、泌尿器科、 歯科、内科(休診)
診察日及び 受付時間 ※診療科によって異なる	診察日:月曜～金曜 受付時間:8時30分～11時00分(月曜日～金曜日) 休診日:土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始
入院機能	
病床数	25床(整形外科、神経内科)

#### イ 施設の利用状況

##### 【外来患者】

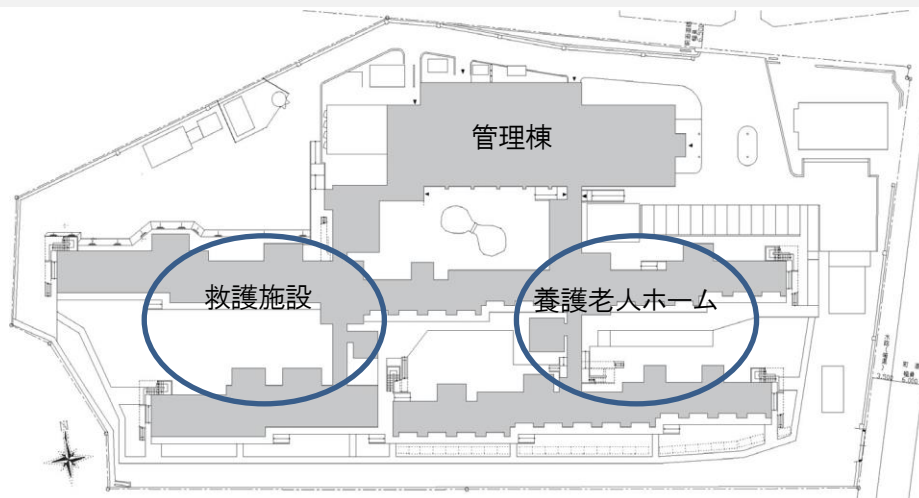
- ・ 2018年度～2022年度の外来患者数は減少傾向  
2018年度:18,542人/年  
2022年度:14,277人/年
- ・ 高次脳機能障害専門外来患者数は増加傾向  
2017年度:973人/年  
2021年度:1,096人/年
- ・ 外来患者の平均年齢は高くなる傾向  
2017年度:61.72歳  
2021年度:63.86歳

##### 【入院患者】

- ・ 2018年度～2022年度の入院患者数は減少傾向  
2018年度:5,628人/年(病床利用率61.7%)  
2022年度:4,545人/年(病床利用率49.8%)
- ・ 入院患者の平均年齢は高くなる傾向  
2017年度:70.22歳  
2021年度:72.31歳

## 2.現施設概要

### (2)洛南寮(京田辺市)



#### ① 養護老人ホーム

65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により居宅で養護を受けることが困難な方を措置により入所させるとともに、その方が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加できるよう生活リズムの維持や健康管理に関する必要な指導、訓練及び援助を行っている。

また、DVや虐待被害等を受けた高齢者の緊急入所、シェルター利用を積極的に受け入れるとともに、地域の小・中学生と入所者の交流行事等を実施し、地域との交流を行っている。

#### ア 機能、定員等

機能	定員	対象者
養護老人ホーム	100名	65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により居宅で養護を受けることが困難な方

※上記定員数に一般型特定施設入居者生活介護30名を含む。

#### イ 施設の利用状況

- ・ 利用率は90%以上で推移していたが、近年は減少傾向 2022年度末:71%
- ・ 年齢構成は75～84歳が最も多い 2021年度:全体の49%
- ・ 半数以上が要介護認定
- ・ 介護サービス(一般型特定施設入居者生活介護)利用者・要介護3以上の方は増加傾向 2022年度:介護認定の割合51% 要介護3以上の割合27%
- ・ 虐待等緊急課題のある高齢者の緊急利用は4人/年程度で推移  
2021年度:4人/年

## 2.現施設概要

### (2)洛南寮(京田辺市)

#### ② 救護施設

救護部門は、京都府内唯一の公立救護施設であり、府民の安心・安全を守る最後の受け皿(セーフティーネット)として、地域社会での自立に向けた支援や訓練を行うなど、その生活を支えるための活動を行っている。

#### ア 機能、定員等

機 能	定 員	対 象 者
救護施設	100名	身体上又は精神上、著しい障害がある等の理由から日常生活を営むことが困難な要保護者及び生活困窮者

#### イ 施設の利用状況

- ・ 居宅生活訓練事業は2017年事業開始以降5名が地域移行
- ・ 一時入所事業は年度によってばらつきがあるが一定数利用
- ・ 利用率は90%以上で推移 2022年度末:95%
- ・ 府内全域から入所者を受入
- ・ 年齢構成は60歳以上が占める割合が高い 2022年度:全体の69%

### 3. 新施設の位置づけ

#### (1) 求められる役割

##### ① 基本理念『障害児・者や高齢者等が地域で安心して生活できる共生社会の実現』

- 総合的なリハビリテーションの拠点として、先進的なリハビリテーションの取組やモデル事業の実施、リハビリテーションに携わる医師や専門職などの人材育成により、府内のリハビリテーション機能の向上を図る。
- 誰もが地域で安心して生活できるよう支援体制を構築し、施設入所者の地域移行を促進する。

##### ② 機能の方向性

#### (1) 府内全域のリハビリテーションの推進

##### ① 先進的なリハビリテーションの提供

- ・ 附属リハ病院の診療体制充実、環境整備
- ・ 在宅生活や就労に向けたリハビリテーションの充実
- ・ 障害者スポーツの医科学サポートの実施
- ・ 最新の介護機器・福祉用具等の展示

##### ② リハビリテーション人材の育成

- ・ リハビリテーション専門職等に対する卒後教育
- ・ 医療・介護・福祉の多職種連携に向けた研修会

#### (2) 高齢者・障害者等施設機能の強化

##### ① 入所者の地域移行、社会復帰・社会参加の推進

- ・ 地域移行のための支援、就労支援の充実、緊急入所対応の充実
- ・ 体育館でのスポーツ活動

##### ② 入所者対応の充実

- ・ 入所者の処遇向上、感染症対策の強化
- ・ 先進技術の活用、医療的ケアやリハビリテーションの充実
- ・ スポーツとリハビリテーションの連携による身体機能の維持・向上

#### (3) 施設間連携強化による専門性の向上、サービス提供体制の充実

- ・ 各施設間の専門職員同士の連携による人的資源の効率化や専門性の向上
- ・ 附属リハ病院と高齢者・障害者等施設が連携したサービス提供

#### (4) 施策効果の府域全体への波及・横展開の促進

##### ① 府内リハビリテーション提供施設や市町村の介護予防事業への支援

- ・ オンラインを活用したリハビリテーション人材研修の府域全体への展開
- ・ 拠点内の先進的な取組、モデル事業、入所者の処遇改善事例、地域移行に関する好事例等の情報提供
- ・ 市町村の介護予防事業へのリハビリ専門職の参画による支援

##### ② 府域全体の施設機能の向上への貢献

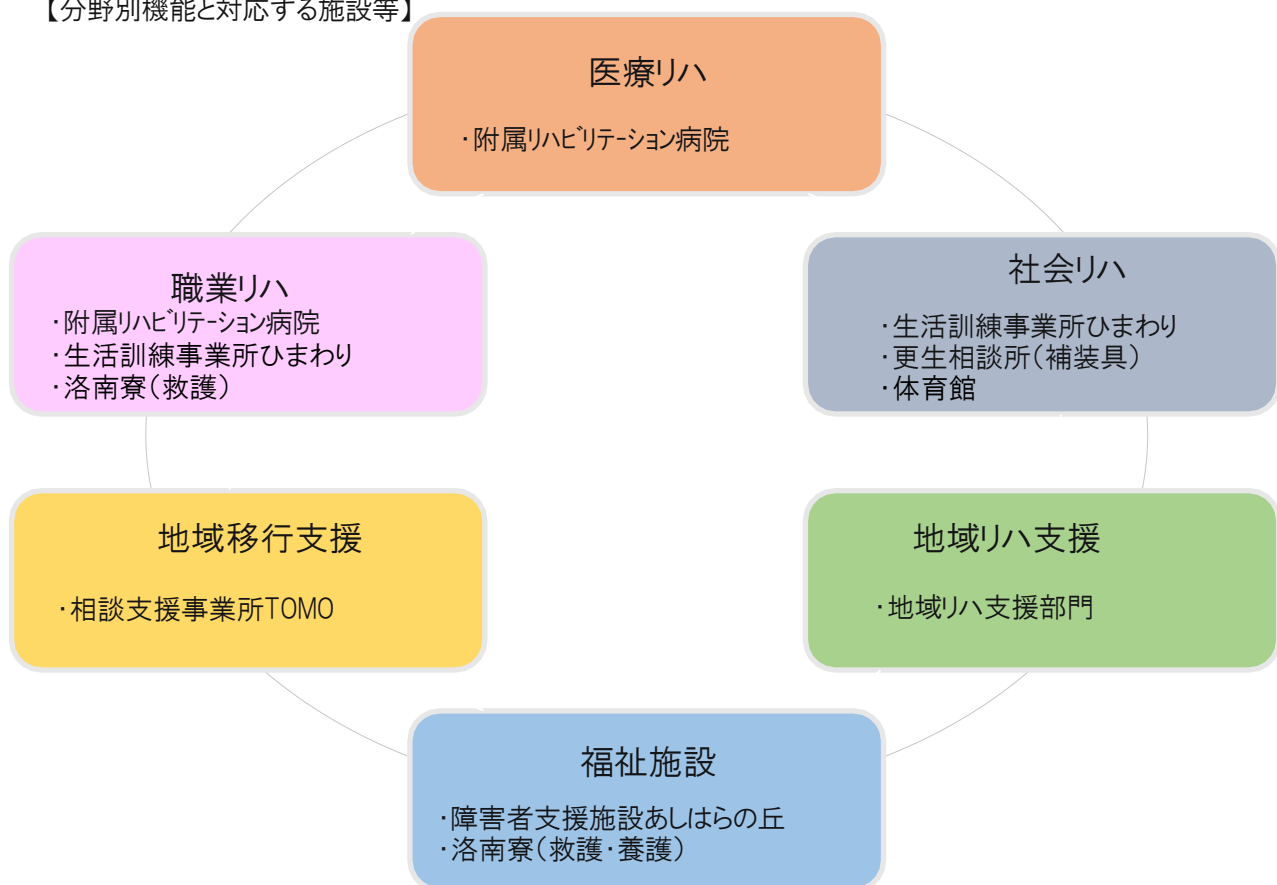
- ・ 困難事例への対応や先進事例等の関連施設への情報共有
- ・ 在宅生活を支援する福祉用具・住宅改修に係る相談援助

### 3. 新施設の位置づけ

#### (2) 分野別機能について

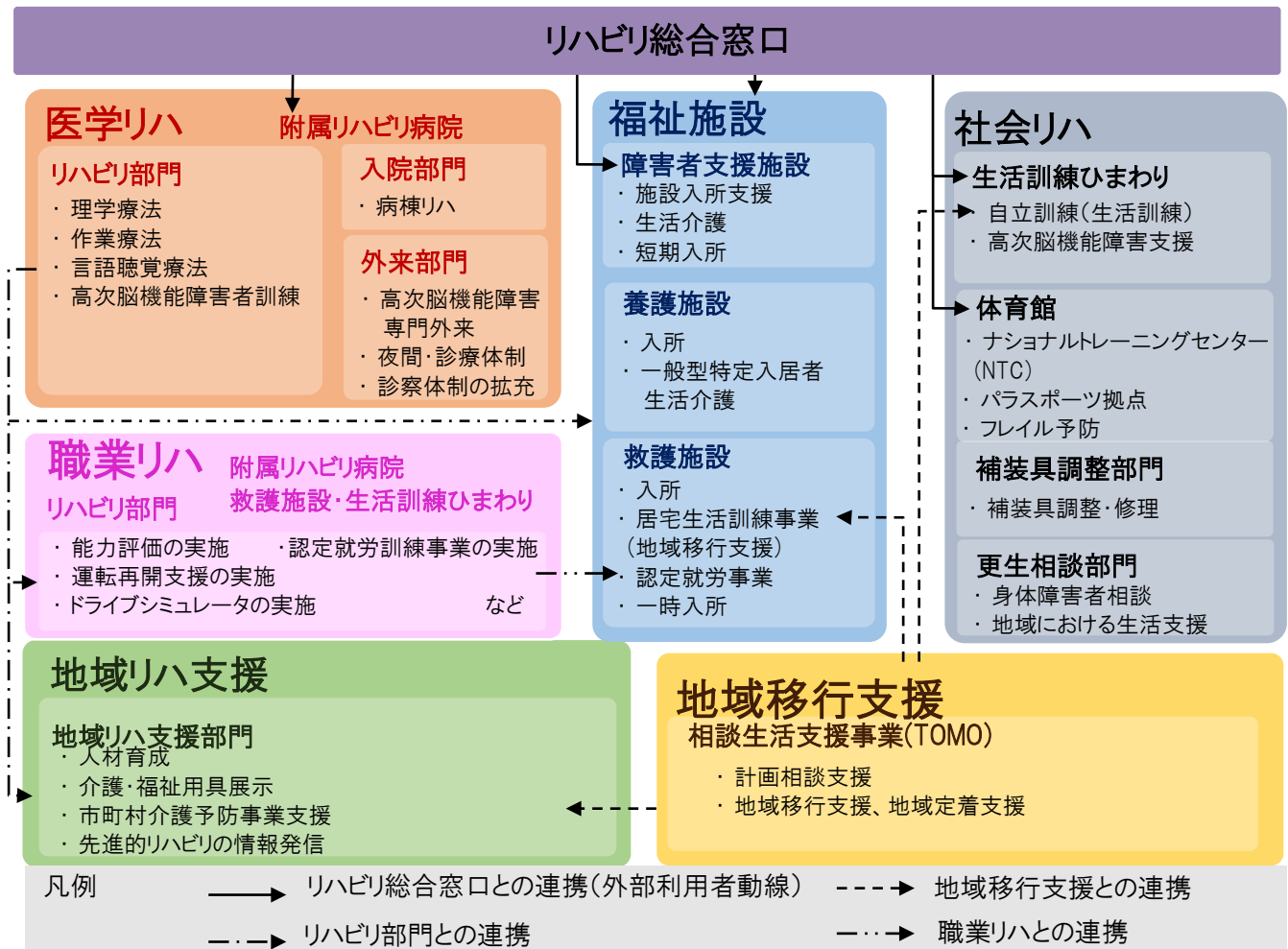
分野別機能	概要
医学リハ	病気やケガによって生じた障害を医学的知識や方法によって除去、軽減する。
職業リハ	就労年齢にある人に働く場所等を提供し、職能教育・訓練等を行う。
社会リハ	障害がある方が、家庭での暮らしや社会生活を実現していく働きかけを行う。
地域リハ支援	リハビリテーション専門職等に対する卒後教育や医療・介護・福祉の連携促進のための研修等を行う。
福祉施設	障害や経済的問題等により、地域で生活することが困難な方に健康で安心して生活する場を提供する。
地域移行支援	地域で安心して暮らし続けるため、地域移行・自立支援に向けた相談支援等を行う。

【分野別機能と対応する施設等】



### 3. 新施設の位置づけ

#### (3)施設機能連関図



#### 【リハビリ総合窓口】

- リハビリ総合窓口は、主に外部からの利用者のワンストップ窓口として、関連部門・施設(附属リハビリ病院、相談支援事業所、障害者支援施設、生活訓練事業所、体育館)等と連携しながら一体的に相談対応を行う。

#### 【医学リハ】

- 附属リハ病院の診療体制の充実・確保により医学リハを行う。

#### 【職業リハ】

- リハビリ部門や救護施設の認定就労事業と連携し、職業リハを行う。
- 職業能力評価やドライブシミュレータによる自動車運転再開支援を実施する。

#### 【社会リハ】

- 生活訓練事業所ひまわりで高次脳機能障害支援等を行う。
- スポーツを通じたリハビリを提供する。

#### 【地域移行支援】

- 地域リハ支援部門等が連携し、地域移行を促進する。
- 相談支援事業所TOMOは地域移行に向けた相談や計画の策定を行い支援する。

#### 【地域リハ支援】

- リハビリテーション専門職等に対する卒後教育・人材育成

#### 【福祉施設(入所施設)】

- 福祉施設(入所施設)から各種リハビリや支援を受けられる体制とする。

## 4.新施設機能概要

### (1)地域リハビリテーション支援部門

#### ① 人材育成

- リハビリテーション専門職等に対する卒後教育  
(先進リハビリテーションなどの課題別研修、  
拠点内の福祉施設での受入による実地研修等)
- 医療・介護・福祉の連携促進(多職種連携のための事例検討会の開催等)
- 市町村の介護予防事業や地域ケア会議等へ参画できるリハビリテーション専門職の養成
- 府内養成施設の学生の実習受入推進

#### ②先進的リハビリテーションの情報発信等

- 附属リハ病院の障害者スポーツ医学サポートや先進的な治療などの情報発信等
- 広く府民を対象とした一般的なリハビリ相談や入院患者等への相談、介護機器・福祉用具の展示などを紹介するリハビリ総合相談コーディネーターの設置



## 4.新施設機能概要

### (2)心身障害者福祉センター

#### ①障害者支援施設 あしはらの丘

- 現施設同様、入所者が健康で安心した生活ができるよう障害福祉サービスを提供
- 入所者の高齢化を見据えた附属リハ病院との連携による医療やリハビリテーション提供強化
  - ・医療的ケアの提供
  - ・自立支援に向けたリハビリ導入 等
- 居室は利用者の住まいを意識し、個室化・ユニット化での整備を検討
- 緊急受入への対応強化として、新たに併設型5床程度で短期入所定員数の増加や、次の利用者を想定した設備強化を検討
  - ・高次脳機能障害や強度行動障害
  - ・高齢化に伴う認知症患者 等

#### ②生活訓練事業所 ひまわり

- 社会復帰・社会参加の推進に向けた日中活動の検討
- 設備・環境を整備
  - ・生活訓練プログラム充実
  - ・就労訓練・地域移行推進に繋がるプログラム検討
- 洛南寮などの入所者に対する生活訓練プログラムの提供

#### ③相談支援事業所 TOMO

- 地域移行推進に向けたTOMOをベースとした地域移行ネットワークの構築、相談機能充実
  - ・地域生活に移行するための重点的な支援
  - ・在宅リハビリテーション、在宅改修、各種介護機器等の相談充実
  - ・地域移行後の常時の連絡体制の確保、緊急時の相談等



## 4.新施設機能概要

### (2)心身障害者福祉センター

#### ④体育館

- パラリンピック競技ナショナルトレーニングセンター競技別強化
- 拠点施設(NTC)であり、  
京都府のパラスポーツの拠点として各種目の設備を充実
  - ・現施設で定着している種目の更なる設備充実  
例)パワーリフティング、アーチェリー 等
  - ・新種目への対応に向けた設備検討  
例)車椅子ラグビー・バスケット・テニス 等
  - ・高齢者のフレイル予防として、ロコモ体操等の取組み強化

#### ⑤補装具調整施設等

- 補装具調整施設  
業者が製作した補装具や装具を医師や職員が判定し、  
微調整等の助言を行う。
- 更生相談部門  
身体障害者福祉法に基づき補装具の判定業務  
や利用者の一般的な相談に応じる。

## 4.新施設機能概要

### (2)心身障害者福祉センター

#### ⑥ 附属リハビリテーション病院【リハビリテーション部門】

- 現疾患別リハビリテーションは継続
  - ・現疾患別リハビリテーション：運動器リハ、脳血管疾患リハ
- 先進的なリハビリテーションの提供として下記導入を検討
  - ・磁気刺激装置（磁場を発生させ、脳等を刺激することにより、運動麻痺、失語等の回復を促す装置）
  - ・電気刺激装置（電気により筋又は末梢神経を刺激することにより、機能の回復を促す装置）
  - ・VRリハ（ヘッドマウントディスプレイが作り出す3次元仮想空間で行うリハビリテーション）
  - ・ドライブシミュレータ  
（脳卒中患者等がモニターに展開される道路状況等に反応してなされる運転操作のデータをもとに、自動車運転再開に向けた訓練、評価を行う装置）
- 高次脳機能障害専門外来の充実
- 障害者スポーツの医科学サポートの実施等
- 小児リハビリテーションはこども発達支援センターとの連携体制を検討
- 併設されている障害者支援施設などへのリハ専門職による支援

#### 附属リハビリテーション病院【外来・検査部門】

- 夜間休日の医療提供体制の検討
- 洛南寮入所者への対応や各施設利用者の高齢化進展を考慮した診療体制構築
  - ・現行の診療科の充実及び新たな診療科の診療体制確保を検討

継続 ※充実を検討	整形外科、リハビリテーション科、神経内科、精神科、泌尿器科、歯科、内科【再開】
新規検討	皮膚科、耳鼻咽喉科

#### 附属リハビリテーション病院【手術部門】

- リウマチ・人工関節置換術等の整形外科系疾患の手術手技拡充に向けて、医師確保・医療体制構築を目指す
  - ・肩関節・股関節の人工関節置換術

## 4.新施設機能概要

### (3)洛南寮

#### ①洛南寮共通事項

- バリアフリー化を進めるとともに入居者のプライバシーに配慮し、施設の個室化・ユニット化の推進を検討
- 各市町村担当職員等の関係機関との連携強化
  - ・地域包括支援センター、民生委員、ケアマネージャー等との密な情報共有
  - ・生活保護担当課との査察指導会議や研修
- 身体機能が低下している入所者の通院について、リハビリ専門職とサポート

#### ②養護老人ホーム

- 入所者が健康で安全な生活や自立・社会参加できる福祉サービスを提供
- 高齢化の進展に伴う入所者の要介護度増加や多様なニーズへの対応強化を検討
  - ・附属リハ病院との医療やリハビリ連携
  - ・施設のバリアフリー化
  - ・感染症対策
  - ・特殊浴槽整備 等
- 府立施設としての役割を考慮し定員数を維持しつつ、将来的な福祉・介護ニーズの変化への柔軟な対応を考慮して整備
- 居室は居宅に近い環境を提供できるよう、個室化・ユニット化で整備を検討

#### ③救護施設

- 居室は利用者の住まいを意識し、個室化・ユニット化で整備を検討
- 現施設同様、社会復帰・社会参加の推進に向けたサービス提供
- 認定就労訓練事業強化として訓練プログラムの充実とそれに伴う環境・設備
- 地域生活移行を目的とする居宅生活訓練事業の更なる充実